



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 8. 26(金)
No. 18
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

前期後半がスタートしました！

8月25日(木)に前期後半が始まりました。33日間の夏休み明けで子どもたちの様子が心配でしたが、元気にあいさつしながら登校する姿に安心しました。夏休み中に新型コロナに感染したり、濃厚接触者となり、出席停止となっている子どももいますが、まずはしっかり体調を戻し、元気になってから頑張ってくれたらと思います。学校に子どもたちの元気な声が響くようになり、さあ前期後半のスタートだと気持ちを引き締めたところでした。



リモートによる集会の様子

9月30日(金)まで「弁当日課」にご協力をお願いします

泗水学校給食センターの厨房機器等改修工事のため、9月30日(金)までの予定で給食の提供が中止されます。保護者の皆さまには大変ご負担をおかけしますが、8月29日(月)から弁当の用意をよろしくお願いします。

なお、この期間は、給食の時間を短縮するため、下校時刻が20分早くなります。

8月20日(土)PTA愛校作業…大変お世話になりました！

8月20日(土)午前6時30分から約1時間、PTA愛校作業を行いました。多くの保護者の皆さんに来校していただき、校舎内外の子どもたちでは清掃美化が行き届かない箇所を美しくしていただきました。作業終了後も、PTA役員さん方を中心に、草の後始末や後片付け等にあたってください、とても美しくなりました。また、当日は、「泗水小ガーデニングクラブ」の皆さまにも、中庭の学校園の美化作業にあたってくださいました。

とても美しく整備された環境の中で、前期後半のスタートがきれしました。暑い中、早朝から作業にあたってください、本当にありがとうございました。

☆校長室から独り言15☆

「子どもは未来からの留学生！」①

子どもたちが社会人として活躍する近い未来。今では想像できない世の中になっていると、学者は唱えています。イギリスのオックスフォード大学でAI(人工知能)などの研究を行っているマイケル・A・オズボーン准教授らは、20年後までに人類の仕事の約50%が、AIないしは機械によって代替され、消滅すると予測しました。

一方で私たちは、「AIは決して万能ではない」ということも認識しておく必要があります。例えば、これまでにない課題を解決する仕事(＝過去のデータがないもしくは不十分な仕事)や、数値化できない人間の感性や経験に基づく創造的なアイデアを生み出す仕事については、AIは不得意です。

AIが何か結論を出したとき、それは「考えた」のではなく、あくまでデータによる計算結果です。AIとの共存社会がやってくる中で、子どもたちが活躍していくためには、人間にしかできない、困難な問題に主体的に対処できる力を育成することが重要です。

「子どもは未来からの留学生」と言われることがあります。子どもたちを未来からの留学生と捉え、未来を生き抜ける力を育むために、未来社会をイメージし、その社会を生きる人間として子どもたちに何が必要かを、保護者の皆さんと一緒に考えていけたらと思います。

消えそうな仕事	消える確率	残るだろう仕事	消える確率
電話マーケティング	99%	小学校教員	0%
スポーツの審判	99%	看護師	1%
モデル	98%	獣医	4%
カフェ店員	97%	救命救急士	5%
事務員	96%	グラフィックデザイナー	8%
ネイリスト	95%	ソフトウェア開発者	13%
タクシードライバー	89%	消防士	17%

マイケル・A・オズボーン他著「未来の雇用」から抜粋